

平成 2 7 年度

石巻市男女共同参画推進事業の取り組みについて

＜石巻市男女共同参画基本計画（第 2 次）の進捗状況と事業の概要＞

石 巻 市

## 目 次

### はじめに

1、本報告書の趣旨	1
2、石巻市における男女共同参画の歩み	1
3、石巻市男女共同参画基本計画のあらまし	1
4、石巻市男女共同参画基本計画（第2次）の進捗に関する評価手法	3

### 第1部 平成27年度における石巻市男女共同参画基本計画（第2次）の進捗状況

1、進捗に関する成果	5
2、指標項目と達成状況	18
3、市の取り組み実績	23

### 第2部 平成27年度における男女共同参画推進事業の概要

1、推進体制	65
--------	----

### 参考資料

石巻市男女共同参画推進条例	67
石巻市男女共同参画推進本部設置要綱(平成28年6月17日~)	72
石巻市男女共同参画推進審議会委員名簿	74

# は じ め に

## 1 本報告書の趣旨

この報告は、石巻市男女共同参画推進条例第12条に基づき、石巻市男女共同参画基本計画の進捗状況について、年度ごとに取りまとめ、公表するものであり、今回は平成27年度における進捗状況をお知らせします。

## 2 石巻市における男女共同参画の歩み

石巻市では、男女共同参画について、旧石巻市における、平成10年の「いしのまき男女共生プラン」策定、平成16年の「石巻市男女共同参画推進条例」施行をはじめ、各町においても様々な取り組みを進めてまいりましたが、平成17年4月1日の合併に伴い、新たに「石巻市男女共同参画推進条例」を施行、平成18年2月1日に「石巻市男女共同参画基本計画（第1次）」を策定、平成23年2月1日に「石巻市男女共同参画基本計画（第2次）」を策定し、男女共同参画を推進しております。

## 3 石巻市男女共同参画基本計画（第2次）のあらまし

### （1）計画の性格

- ・ 「石巻市男女共同参画推進条例」に基づく基本計画です。
- ・ 国の「男女共同参画基本計画」及び「宮城県男女共同参画基本計画」はもとより、市の「長期総合計画」等との整合性を図りつつ、男女共同参画社会の実現を目指すための個別計画と位置付けるものです。

### （2）計画の期間

- ・ 平成23年度から平成28年度までの6年間

### （3）計画の基本理念

- ・ 男女の人権尊重
- ・ 性別による差別の禁止及び性別による役割分担意識の解消
- ・ 男女のあらゆる意思決定の場への共同参画
- ・ 家庭生活における活動とその他の活動との両立

### （4）計画の体系（重点課題）

重点課題		施策の方向
1	男女共同参画に関する意識の高揚と教育・学習の推進	(1) 学校、家庭、地域の連携による教育・学習機会の拡充 (2) 男女共同参画の視点に立った意識の啓発と表現への配慮 (3) 男女平等の視点に立った性に関する教育の充実 (4) 男女の生涯にわたる心身の健康支援 (5) 市職員・教員への意識啓発の強化
2	政策形成及び方針決定の場への女性の参画促進	(1) 市の審議会・委員会等への女性の参画促進 (2) 市及び市の関係団体等における女性の参画促進 (3) 女性人材の育成

3	地域における男女共同参画の推進	(1)男女共同参画による地域活性化の推進 (2)男女共同参画に関する市民活動への支援の拡充 (3)国際交流・協力の推進
4	働く場における男女共同参画の推進	(1)働く場における男女共同参画の環境整備 (2)働く女性の能力の向上と就業のための支援 (3)企業における女性の登用促進及び人材活用に向けた取組の推進
5	男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援	(1)男女間におけるあらゆる暴力の根絶 (2)暴力被害者に対する支援の拡充 (3)あらゆる場でのセクシュアル・ハラスメントをなくすための取組の推進
6	子育て・介護・地域活動と仕事との両立の支援	(1)家庭生活・地域活動における男女の共同責任意識の醸成 (2)子育て支援の充実 (3)高齢者や障害者の生活支援及び介護保険事業の充実 (4)ひとり親家庭等への支援

#### (5) 計画の目標数値

重点課題		項 目	目標値
2	政策形成及び方針決定の場への女性の参画促進	審議会・委員会等への女性委員の登用率	40%
		女性人材リスト登載者数	150名
3	地域における男女共同参画の推進	自治会等役員に占める女性の割合(※)	20%以上
4	働く場における男女共同参画の推進	家族経営協定締結農家数	10戸以上
6	子育て・介護・地域活動と仕事との両立の支援	延長保育の実施箇所数と受入定員	8か所、定員80名
		一時保育の実施箇所数と受入定員	5か所、定員40名
		休日保育の実施箇所数と受入定員	2か所、定員20名
		病後児保育の実施箇所数と受入定員	1か所、定員 2名
		子育て支援センターの数	7か所
		放課後児童クラブの実施箇所数と受入定員	30か所、 定員1,195名

(※) 重点課題3における自治会等役員とは、自治会等の会長・副会長・会計・幹事等の全ての役員をいう。

## 4 石巻市男女共同参画基本計画の進捗に関する評価手法

### (1) 評価手法について

計画の進捗状況に関する評価については、市が実施・支援した事業が、市民、事業者にどのような波及効果（成果）をもたらしたか、その尺度となる指標を定め、それを年度終了後に測定することで計画の達成状況を評価します。そこから得たものを次の施策立案につなげていく、いわゆるPDCAサイクルにより計画を実行します。

取組成果については、石巻市男女共同参画推進本部が行い、これを石巻市男女共同参画推進審議会が評価し、審議会の意見を添えて公表します。

### (2) 指標について

男女共同参画社会の実現には、市民の意識改革を伴うことから長期的な取り組みが必要であり、計画の達成度や評価については長期的な視点で総合的に判断していかなければなりません。このため、市民に分かりやすい具体的な指標として「石巻市男女共同参画基本計画」の中で掲げた指標項目のほかに、男女共同参画社会の形成状況を把握するために適当と思われる項目についても、あわせて調査しています。

#### 【男女共同参画の推進に関する指標項目】

重点課題	指標項目
1 男女共同参画に関する意識の高揚と教育・学習の推進	(1)中学校の生徒会長及び役員における女性の割合 (2)市が開催する男女共同参画関連イベント・セミナーの参加者数及び男性の参加割合 (3)男女共同参画に関する出前講座の利用回数
2 政策形成及び方針決定の場への女性の参画促進	(1)審議会・委員会等への女性委員の登用率 (2)女性人材リスト登載者数 (3)市議会議員における女性議員の割合 (4)市の管理職における女性の割合
3 地域における男女共同参画の推進	(1)子育て支援センターの数 (2)PTAの会長及び役員における女性の割合 (3)町内会の会長及び役員における女性の割合
4 働く場における男女共同参画の推進	(1)保育士、看護師における男性の割合 (2)自分の職場が仕事と家庭を両立するのに働きやすい職場だと思っている人の割合
5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援	(1)DVの内容について正しく理解している人の割合 (2)セクハラまたはDV被害に遭ったときの相談窓口を知っている人の割合

6 子育て・介護・地域活動と仕事との両立の支援	(1)延長保育の受入定員と実施箇所数 (2)一時保育の受入定員と実施箇所数 (3)休日保育の受入定員と実施箇所数 (4)病後児保育の受入定員と実施箇所数 (5)子育て支援センターの数（再掲）
-------------------------	---

### （３）調査項目等について

評価を行うために調査する項目は、次のとおりとします。

- ① 計画に掲げた各「事業の概要」について、当該事業所管課の取組状況
- ② 男女共同参画推進に関する配慮の状況
- ③ 指標の数値の動向
- ④ セミナー等開催時のアンケート
- ⑤ 男女共同参画に関する市民意識

### （４）まとめ

- (1) 計画の推進状況の評価にあたっては、関連事業の実施率を評価するよりも、市が実施した事業が、市民、事業者にどのような波及効果（成果）をもたらしたかを調査し、計画の達成状況の評価するものとします。
- (2) 男女共同参画については、そういった意識が市民や事業主に浸透するまではかなりの時間を要するものと考えられ、その推進にあたっては行政が積極的に施策を講じていかなければならないことから、関連事業の実施状況も調査し、評価の材料とします。
- (3) 指標については、事業を実施したことによって、市民や事業者にどのような波及効果（成果）をもたらしたか、それらの数値を調査すれば、客観的に男女共同参画の推進状況がわかるようなものとします。
- (4) 実施事業についての自己評価は、担当する者の主観が入るため、人により評価が違ってくることで、また、事業が未実施の場合、予算上の問題によるものも多いことから、各課への照会項目として、「実施事業についての自己評価」及び「事業未実施の場合の理由」は含めないものとします。
- (5) 男女共同参画については、目に見えて進んでいくものとは考えにくいことから、年度毎に評価をするにあたり、できるだけ評価を行い易くするため、計画書に掲載済の指標以外にも指標を設けることとしますが、これらの指標については目標数値を定めず、男女共同参画の推進状況については、国や県との比較、あるいは前年との比較を基に総合的に判断します。

# 第1部 平成27年度における 石巻市男女共同参画基本計画（第2次）の進捗状況

## 1 進捗に関する成果（平成27年度）

「2 指標項目と達成状況」及び「3 市の取組実績」を基に、以下のとおり取りまとめたもの。

●重点課題1 男女共同参画に関する意識の高揚と教育・学習の推進	
施策の方向	(1) 学校、家庭、地域の連携による教育・学習機会の拡充 (2) 男女共同参画の視点に立った意識の啓発と表現への配慮 (3) 男女平等の視点に立った性に関する教育の充実 (4) 男女の生涯にわたる心身の健康支援 (5) 市職員・教員への意識啓発の強化

### (1) 学校、家庭、地域の連携による教育・学習機会の拡充

#### 【取組実績】

- ・学校では、道徳教育や職業体験等を通し、男女平等の理解を深める教育が行われた。
- ・「学校便り」、「PTA広報誌」「学校ホームページ」を活用し、学校と家庭、地域が連携する教育が進められた。
- ・男女共同参画に関する出前講座が実施された。
- ・入学説明会等の機会を活用し、男女共同参画の意義を説明した。
- ・市立・私立幼稚園及び市立小・中学校の保護者を対象とした家庭教育学級を開催した。

#### 【成果】

- ・児童生徒に対し、教育課程に則り計画的に実践してきた。今後も適切な教育課程の実施に努め、保護者に対しても、機会をとらえて適切な啓発に努める。
- ・「男女共同参画」についての出前講座メニューを設定することで、市民の関心を引き、出前講座の実施に繋がった。
- ・家庭教育学級の開設に向けて理解が深まり、今後も各学校等への指導、助言に努め、事業の充実を図る。

### (2) 男女共同参画の視点に立った意識の啓発と表現への配慮

#### 【取組実績】

- ・石巻市PTA協議会と連携し、「男女共創セミナー」を開催した。
- ・男女共同参画週間におけるPR活動、年間を通じた男女共同参画に関係するPRカードの配布、出前講座の実施などの啓発活動を推進した。
- ・新規事業として、「子育てパパ育成事業」「親になるための教育事業」を実施した。
- ・市報やホームページ等を活用し市民への情報発信に努め、市職員に対しても「男女共同参画

だより『ともに』を発行し、各課へ配布した。

#### 【成果】

- ・石巻市PTA協議会と連携してセミナーを開催したことで、父親も含め幅広い意識の啓発が図られた。
- ・「男女共同参画」についての出前講座メニューを設定することで、市民の関心を引き、出前講座の実施に繋がった。
- ・少子化対策プロジェクトチームからの提案を受け、地方創生先行型交付金を活用し、子育て参加促進事業（「子育てパパ育成事業（イクメン講習会）」「親になるための教育事業」）の拡充を図り、男性や若い世代への啓発に繋がった。
- ・市報やホームページでの情報発信に努め、相談や各種啓発イベント、セミナー等の認知度をあげるよう努めた。
- ・前年度実績がなかった「男女共同参画だより『ともに』」を年3回発行し各課へ配布することで、市職員の啓発に繋がった。
- ・「表現の手引きの検討、作成」について実績がなく、平成28年度においても具体的な計画はないが、機会をとらえて表現の浸透を図るよう努めていきたい。

### (3) 男女平等の視点に立った性に関する教育の充実

#### 【取組実績】

- ・全体指導計画に沿って、各学校において、計画的、意図的な指導を継続している。
- ・高校生を対象とした「高校生のための人権教室」にて、「高校生に伝えたい性といのち」をテーマに講話を実施した。
- ・学校内での相談体制として、スクールカウンセラーをすべての中学校と希望する小学校に配置し、気軽に相談できる体制を整備した。

#### 【成果】

- ・学校内での相談体制など、引き続き教育計画や年間指導計画に則った適切な実践を行う。
- ・石巻市立桜坂高校の人権教室は性教育講話も兼ね、思春期における心の教育に繋がった。夏休みまたは冬休み前に実施したことにより、長期休暇の際の生活への注意喚起にもなった。

### (4) 男女の生涯にわたる心身の健康支援

#### 【取組実績】

- ・妊婦に対しては母子健康手帳交付時の個別面接、産婦に対しては訪問指導を実施している。
- ・妊婦一般健康診査費の助成事業を実施している。
- ・こころの相談事業、各種健康教室、がんの予防研修会を実施している。
- ・食育の推進として、各種研修会、セミナーを実施している。
- ・禁煙指導（喫煙に関する正確な情報提供）を実施している。

#### 【成果】

- ・石巻市健康増進計画に基づいた事業を行い、市民の健康づくりの支援や生活習慣病の予防に努めている。妊婦健診や訪問指導を実施し、妊婦や産婦の健康の保持増進を図り、安心安全



な出産や子育てを支援した。こころの相談事業では家族関係の相談が多く、相談者の家族への接し方が変わると家族の様子にも変化がみられたという声が聞かれた。

#### **(5) 市職員・教員への意識啓発の強化**

##### **【取組実績】**

- ・庁内グループウェアを通し、各種情報の提供を行い、職員へ周知を図っている。
- ・市職員を対象に意識啓発研修を実施している。今年度は、新たな試みとして男性職員を対象に「石巻育MEN講習会」を実施した。
- ・教職員、保護者を対象に、人権に関する研修会を実施した。

##### **【成果】**

- ・男性職員向けの研修（「石巻育MEN講習会」）や女性の力を仕事に活かすための研修を実施することにより、職員個々の意識改革に繋げることができた。
- ・管理者や庶務担当者向けの子育て支援に関する制度の手引書を作成できなかったため、平成28年度は周知と環境づくりに努めたい。
- ・「人権意識を高める教育講演会」の実施については、参加者から身近な問題で人権を考える大変いい機会となったと好評を得たところである。人権擁護委員協議会と連携し啓発の強化を図られた。平成28年度においても、同様の講演会を企画することとしており、一層の人権意識高揚を図っていききたい。

●重点課題2 政策形成及び方針決定の場への女性の参画促進	
施策の方向	(1) 市の審議会・委員会等への女性の参画促進 (2) 市及び市の関係団体等における女性の参画促進 (3) 女性人材の育成

#### **(1) 市の審議会・委員会等への女性の参画促進**

##### **【取組実績】**

- ・委員選考の参考として「女性人材リスト」を整備しており、女性人材リスト登録の更なる働きかけを行った結果、前年度に比べリスト登載者が14名増えた。（平成28年4月1日現在137人登載）
- ・各課に対し、審議会等への女性登用を促した。

##### **【成果】**

- ・女性人材リストを整備するとともに、各課に対しリストの活用を呼びかけたことにより、各審議会等への女性委員の確保に努めた。平成28年4月1日現在、女性人材リスト登載者から26名が委員として任命されている。

#### **(2) 市及び市の関係団体等における女性の参画促進**

##### **【取組実績】**

- ・ 審議会等の女性委員の登用促進について、関係部局及び市関係団体等に対して、女性登用への配慮や女性人材リストの活用の働きかけを行った。
- ・ 職員の登用に際しては、性別にとらわれることなく、職員の適性を見極め行っている。

#### 【成果】

- ・ 平成２８年４月１日から施行する、石巻市特定事業主行動計画（女性活躍の推進）により、
  - ① 平成２７年度の管理的地位（ポスト補佐職含む）に占める女性職員割合１９％を、平成３０年度までに２２％以上とすることを目指す
  - ② 平成２７年度の男性職員の育児参加特別休暇の取得率１７％を、平成３０年度までに８０％以上とすることを目指す。

### (3) 女性人材の育成

#### 【取組実績】

- ・ 女性人材育成セミナーを実施し、参加者自身が前向きに活躍するスキルを学んだ。
- ・ ＮＰＯ法人、企業と協働で、女性の社会参画へのスキルを上げるセミナーを実施した。
- ・ 地域女性活躍推進交付金を活用し、「女子力アップ促進事業」を実施した。
- ・ 市町村アカデミーへ市女性職員を派遣した。

#### 【成果】

- ・ 女性を対象にした各セミナーにおいて人材育成に努めた結果、各セミナー受講者から１０名が女性人材リストへ新規登載した。
- ・ 積極的に女性職員の能力が活かせる環境づくりに努めた。

●重点課題３ 地域における男女共同参画の推進	
施策の方向	(1) 男女共同参画による地域活性化の推進 (2) 男女共同参画に関する市民活動への支援の拡充 (3) 国際交流・協力の推進

### (1) 男女共同参画による地域活性化の推進

#### 【取組実績】

- ・ 自治会役員における女性の割合調査を実施した際に、地縁団体等の長や役員に本計画概要版等を配布し、啓発に努めた。
- ・ 石巻市ＰＴＡ協議会と連携して、男女共創セミナーを開催した。
- ・ 防災分野において「女性のための防災リーダー養成講座」を実施した。
- ・ 石巻町内会連合会女性部会に対し、出前講座『「男女共同参画」の実現に向けて』を実施した。

#### 【成果】

- ・ 石巻市ＰＴＡ協議会と連携してセミナーを開催し、男女がともに地域活動へ積極的に参画するよう啓発した。
- ・ 防災分野における講座をＮＰＯ団体と協働で実施し、防災や災害時における地域での女性の

社会参画促進に繋げた。

## **(2) 男女共同参画に関する市民活動への支援の拡充**

### **【取組実績】**

- ・ N P O 支援オフィスのホームページや情報誌を活用し、事業の積極的な周知を図った。
- ・ 市民活動団体や女性団体等と連携・協働し、女性の自立に役立つ講演会・セミナー等を開催した。
- ・ 「石巻 N P O 連絡会議」の設立支援を行った。
- ・ 女性団体と協働し、「女の井戸端会議Ⅳ」への開催協力を行った。

### **【成果】**

- ・ 市民活動団体や女性団体等と連携・協働することで、幅広い啓発へ繋げた。
- ・ 市内で活動する N P O 法人やボランティア団体の活動の活性化を図るために設立された「石巻 N P O 連絡会議」を支援し、復興まちづくりを担う女性や若者の人材育成を図った。

## **(3) 国際交流・協力の推進**

### **【取組実績】**

- ・ 国際交流団体への活動支援を実施し、国際交流、国際文化の相互理解への協力を行った。
- ・ 「多文化共生のための政策提言事業 多文化共生推進ワークショップ in 石巻」を共催した。
- ・ 慶長遣欧使節出帆 4 0 0 年記念事業「イタリア祭」に協力した。
- ・ 外国人窓口の設置し、手続き案内、相談等を実施した。
- ・ 多文化共生推進プラン事業「じゃば N e e d s 塾」を実施し、外国人に対する日本文化の理解等図った。「じゃば N e e d s 塾」参加の外国人に対し、男女共同参画事業について説明を実施した。
- ・ 「海外姉妹都市・友好都市との交流事業記録写真展」を市庁舎にて実施した。

### **【成果】**

- ・ 多文化共生推進事業の充実に関する取り組みを重点的に行った。昨年度から開催している「じゃば N e e d s 塾」では、日本の文化や風習を学びながら、国籍を問わず参加者同士の交流が深められた。講座の回数を増やしたこともあり、より多くの参加者が交流を図ることができた。また、市庁舎 1 階にて「海外姉妹都市・友好都市との交流事業記録写真展」を実施し、交流事業の様子を市民へ周知することができた。

●重点課題4 働く場における男女共同参画の推進	
施策の方向	(1) 働く場における男女共同参画の環境整備 (2) 働く女性の能力の向上と就業のための支援 (3) 企業における女性の登用促進及び人材活用に向けた取組の推進

### (1) 働く場における男女共同参画の環境整備

#### 【取組実績】

- ・企業の経営者や人事担当者、関心ある市民を対象に、介護離職をテーマとしたセミナーを実施した。
- ・上記セミナー時に「女性の力を活かす企業認証制度」についてのチラシを配布及び説明を行った。
- ・職員研修および男女共創セミナー時に、ワーク・ライフ・バランスについてのアンケート調査を行った。

#### 【成果】

- ・介護離職をテーマとしたセミナーを実施することで、事業主に対しワーク・ライフ・バランスの啓発や就業環境改善のための啓発に繋げることができた。
- ・ハローワーク石巻「マザーズコーナー」を市報に掲載することで、働くことを希望する女性の相談窓口について周知が図られた。
- ・ワーク・ライフ・バランスについてのアンケート調査を行うことで、意識啓発に繋げた。

### (2) 働く女性の能力の向上と就業のための支援

#### 【取組実績】

- ・石巻市創業支援事業計画に基づき、各創業支援事業者が創業希望者向けに知識習得のためのセミナーを実施した。
- ・NPO法人、企業と協働で、女性の社会参画へのスキルを上げるセミナーを実施した。
- ・地域女性活躍推進交付金を活用し、「女子力アップ促進事業」を実施した。
- ・働く女性の生活意識のため、アンケート調査を実施した。
- ・家族経営協定締結数が増加した。(新規2件・計6件)

#### 【成果】

- ・地域における創業者の支援を行い、開業率の向上による本市産業の活性化及び雇用の確保に結びつく取り組みを行った。また、女性起業家の割合が増加傾向であることから、性別を問わず創業の機運が高まっているとうかがえる。
- ・関係団体と連携し、女性の起業及びスキルアップのための講座を実施し意識啓発に繋げた。
- ・新規就農促進施策の拡充により、親子間の家族経営協定締結数が増加した。

### (3) 企業における女性の登用促進及び人材活用に向けた取組の推進

#### 【取組実績】

- ・女子力アップ促進事業（地域女性活躍推進事業補助金を活用）を石巻商工会議所の後援で実

施。市内の企業・団体に対し情報提供を行い、セミナー参加や広報を依頼した。

#### 【成果】

- ・石巻商工会議所等の経済団体や地元企業（石巻信用金庫）、水産加工業協同組合、農業協同組合、公共職業安定所と連携し、女性を対象とした講座を2回開催したことで、女性の意識向上及び職業上のスキルアップ、また企業・団体への啓発に繋がった。

●重点課題5 男女間におけるあらゆる暴力の根絶と被害者支援	
施策の方向	(1) 男女間におけるあらゆる暴力の根絶 (2) 暴力被害者に対する支援の拡充 (3) あらゆる場でのセクシュアル・ハラスメントをなくすための取組の推進

### (1) 男女間におけるあらゆる暴力の根絶

#### 【取組実績】

- ・DV相談窓口PRカード配布やDV被害防止啓発についてのパネル展を開催した。
- ・被災地におけるDV予防啓発講座を実施した。
- ・高校生のための人権教室を実施した。
- ・子どもに対する暴力・予防の啓発のための講演会および思春期の子どもに対する接し方講座を実施した。
- ・関係機関、団体と連携した人権啓発事業を実施した。

#### 【成果】

- ・石巻市立桜坂高校の人権教室は性教育講話も兼ね、思春期における心の教育に繋がった。夏休みまたは冬休み前に実施したことにより、長期休暇の際の生活への注意喚起にもなった。
- ・県との共催事業「DV予防啓発講座」では、民生委員や地域福祉コーディネーター等が参加し、DVの未然防止や被害者支援について啓発できた。
- ・思春期の特性を理解し、悩みや相談への対応を学ぶことで、受講者の子どもに対する暴力・虐待予防の意識啓発が図られた。
- ・関係機関、団体と連携した人権啓発事業では、石巻市人権擁護委員協議会の活動を支援するほか、地元FMラジオでの啓発を行い、広く周知を行った。

### (2) 暴力被害者に対する支援の拡充

#### 【取組実績】

- ・市及び関係機関の相談窓口並びにDV被害の各種カウンセリング事業等の周知を行った。
- ・DV被害を含めた様々な女性の悩みの相談窓口としてフェミニストカウンセラーによる「女性のための面接相談」へ事業の協力を行った。
- ・被災女性支援にあたる相談員、支援員のための研修を実施した。
- ・警察署をはじめとした関係機関とのネットワークの充実に努めた。
- ・被害者の住民票や選挙人名簿等の閲覧制限や写しの交付の制限、並びにそれ以外の支援措置

を行った。

- ・被害者の市営住宅申込に係る優先的な入居を考慮した。
- ・生命への危険性が高いケースについては、関係機関の協力を得て一時保護施設及び母子生活支援施設への入所支援を速やかに行った。

#### 【成果】

- ・「女性のための面接相談」について、当市では平成27年度に40件の相談を受付けた。当事業は、内閣府事業であり県内各地で実施されている。県全体での平成27年度の相談者の総数は195人であるが、そのうち石巻市居住者（他会場での相談分を含む）は59人となっており、県内市町村の中では最も多い。
- ・NPO法人と連携し、相談員・支援員のための研修を実施し、各地で活動する相談員・支援員に対してのフォローを行うことができた。
- ・DV、虐待被害者救済のための相談体制の充実を図るとともに、関係機関との連携を強化した。また、被害者及び支援者の安全確保を優先し、継続支援を行うため、定期的に関係機関による検討会議を開催し、支援拡充を行った。
- ・引き続き、被害者保護のための措置として住民票の閲覧や写しの交付及び戸籍の附表の写しの交付を制限するとともに、関係機関と連携を取りながら支援措置を実施していく。

### (3) あらゆる場でのセクシュアル・ハラスメントをなくすための取組の推進

#### 【取組実績】

- ・市職員のハラスメント相談体制の整備している。

#### 【成果】

- ・引き続き、ハラスメントで悩んでいる職員のための相談体制を整え、防止や解決に取り組む。

●重点課題6 子育て・介護・地域活動と仕事との両立の支援	
施策の方向	(1) 家庭生活・地域活動における男女の共同責任意識の醸成 (2) 子育て支援の充実 (3) 高齢者や障害者の生活支援及び介護保険事業の充実 (4) ひとり親家庭等への支援

### (1) 家庭生活・地域活動における男女の共同責任意識の醸成

#### 【取組実績】

- ・新規事業として、「子育てパパ育成事業」「親になるための教育事業」を実施した。
- ・男女共創セミナーを実施した。
- ・「介護離職」をテーマにしたセミナーを開催した。
- ・男女共同参画に関する出前講座を実施した。
- ・子育てハンドブック、子育て情報誌を作成、配布した。
- ・地域社会と学校教育が共同の仕組みを支える協議会を設置し、地域の特色を生かした教育活

動を実践し、子どもたちが「生きる力」を醸成することを目的に「コラボスクール」推進委託事業を実施した。

#### 【成果】

- ・少子化対策プロジェクトチームからの提案を受け、地方創生先行型交付金を活用し、子育て参加促進事業（「子育てパパ育成事業（イクメン講習会）」「親になるための教育事業」）の拡充を図り、男性や若い世代への啓発に繋がった。
- ・「介護離職」をテーマにしたセミナーでは、企業・事業所の人事担当者の参加があり、啓発を図ることができた。
- ・「男女共同参画」についての出前講座メニューを設定することで、市民の関心を引き出前講座の実施に繋がった。
- ・子育てハンドブック、子育て情報誌を作成、配布することで、すぐに欲しい地域の子育て情報を手に取って見られることとなり、子育て支援機能の充実が図られた。
- ・コラボスクールは、平成18年度から毎年数校ずつ順次委託し、平成27年度で一巡することができた。今後も発展的に継続していく。
- ・平成27年度に管理者や庶務担当者向けの子育て支援に関する制度の手引書を作成できなかったため、平成28年度は周知と環境づくりに努めたい。

### (2) 子育て支援の充実

#### 【取組実績】

- ・保育所持機児童の解消を図るため、新規施設の開設や小規模保育事業所への認可等の取組を行った。
- ・延長保育、一時保育、乳児保育、障害児保育等の充実を図った。
- ・子育て支援センター事業の充実を図った。
- ・放課後児童クラブの充実を図った。
- ・子ども医療費助成の充実を図った。
- ・「楽しさいっぱい・子ども展」を実施した。
- ・子どもの健全育成を支援する相談事業の充実を図った。
- ・母子健康手帳交付時、個別面接を実施した。
- ・乳幼児健診を実施した。
- ・「石巻父子手帳」の作成、配布を行った。
- ・地域の保護者における自主的な子育てサークルの育成を支援した。

#### 【成果】

- ・保育事業の充実を図るべく、新規施設の開設や小規模保育事業所への認可等を行い、受け入れ施設を増やした。また、延長保育、休日保育等で、利用者へのサービスの充実を図ることができた。
- ・子ども医療費助成を実施することにより、子育てに伴う家庭の経済的負担の軽減が図られた。また、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援をすることで、若い世代の定住促進が期待され、少子化や人口減少に歯止めをかける重要施策のひとつとして継続して実施する必

要がある。

- ・「楽しさいっぱい・こども展」の実施は、幼児期のよりよい教育環境の創造をともに考えるため、人格の基盤が形成される幼児期の子どもを育成中の市民を対象に、幼稚園教諭、保育士による遊びの場を提供し、子どもとのコミュニケーションを増やすことで、子育てを楽しく行うヒントを与え、また、かけがえのない子どもの命・存在に気づくことにより、人権尊重の意識を高めることができた。また、子育て支援制度の紹介をすることで、子育て中の悩みや、相談機関の情報を与える機会となった。
- ・子どもの気持ちや保護者の悩みを理解し、子どもの健全育成を支援するため、相談事業の充実を図り、市民サービス向上に努めた。
- ・母子健康手帳交付時の個別面接や乳幼児健診、育児相談等を通じて、保護者が安心して子供を産み、健やかに育てることができるよう支援している。今後も支援が必要な方の早期発見と継続的な支援を実施していくこととする。また、保護者自身が実施している子育てサークル等において依頼に応じ、育児相談等を実施することで、自主的な活動が継続できるよう支援をする。また、「石巻市父子手帖」を配付することにより、家庭での父親の育児参加を促し、安心して子育てできるよう啓発する。

### **(3) 高齢者や障害者の生活支援及び介護保険事業の充実**

#### **【取組実績】**

- ・高齢者への生活支援及び地域支援事業（「ひとりぐらし高齢者等緊急通報システム事業」、「食」の自立支援事業等）を実施した。
- ・高齢者の健康づくり事業を実施した。
- ・介護予防及び認知症予防対策事業を実施した。
- ・介護サービスの充実を図った。
- ・高齢者や障害者及び家族に対する相談、支援を実施した。
- ・高齢者や障害福祉制度の理解を深めるための普及啓発を行った。
- ・高齢者教室を開催した。

#### **【成果】**

- ・ひとりぐらし老人等緊急通報システム事業等の高齢者ケアの利用件数は、ほぼ例年の数字で推移しているが、低所得の高齢者にとってサービスの利用促進に繋がっていることから、今後も事業の周知等進めていく。
- ・要介護状態に陥る可能性のある高齢者への介護サービス提供など様々な取り組みを行った。また、介護予防教室に参加された高齢者を対象に、今後は住民主体による自主的活動へ取り組めるよう推進した。
- ・関係団体と連携した高齢者の健康づくりや生活習慣病予防への支援が介護予防につながっている。今後も市民による自主的な健康づくりや介護予防活動を支援していく。
- ・基幹相談支援センター等の周知が図られたこともあり、相談件数が増加し、それによりサービスの利用等へつながり、障害者の生活支援が図られたと考えられる。
- ・高齢者の学習機会の提供及びその奨励を行うことにより、生涯学習の振興に寄与した。今後、事業の継続、新規受講生の確保に努める。



#### (4) ひとり親家庭等への支援

##### 【取組実績】

- ・各種支援制度の周知を図った。
- ・母子家庭等自立支援事業を実施した。
- ・相談体制の充実を図った。
- ・ひとり親家庭への児童扶養手当の支給及び医療費の助成を行った。
- ・母子・父子家庭への医療費助成を行った。

##### 【成果】

- ・制度の周知や給付を通して、自立支援の促進に繋がった。

●後期最重点課題1 復興施策における緊急対応事項	
施策の方向	(1) 震災復興に関するあらゆるレベルの審議の場への女性等の多様な人材の参画推進 (2) 被災者に対する自立に向けた男女共同参画の視点によるケア・サポートの充実

#### (1) 震災復興に関するあらゆるレベルの審議の場への女性等の多様な人材の参画推進

##### 【取組実績】

- ・各種会議の委員への女性登用の配慮を依頼した。

##### 【成果】

- ・石巻防災会議委員の女性割合は6.7%（男性委員56名、女性委員4名）となっている。次回委嘱時に女性委員の登用について検討する。
- ・震災復興推進会議及びまち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議については、女性委員の積極的な推薦を関係部署へ依頼した。その結果、震災復興推進会議では、昨年度より女性委員の登用が増加し、まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議では、登用率の目標値である40%を達成し、女性委員の登用は半数を超えた。

#### (2) 被災者に対する自立に向けた男女共同参画の視点によるケア・サポートの充実

##### 【取組実績】

下記の事業のほか、各種事業を行った。

- ・地域福祉コーディネーター配置事業の実施。
- ・ささえあい拠点センター、ささえあいセンター（集会所・談話室）を設置し、子育て支援スペースや学習スペースとしての活用を呼びかけた。
- ・NPO法人等の3団体（NPO法人ベビースマイル石巻、NPO法人にじいろクレヨン、社会福祉法人なかよし会）と委託し、地域子育て支援拠点事業を展開した。

### 【成果】

- ・復興公営住宅等への入居が進み応急仮設住宅の入居率が低下している中で、支援の内容が全体的な支援から再建方法未定世帯を中心とした個別支援を行う事業へ移行している。支援対象についても仮設から復興公営住宅へ徐々に移行してきており、入居後のコミュニティ支援について各課で取り組んでいる。
- ・子育て支援拠点の設置を推進することにより、子育ての不安感等緩和し、子どもの健やかな育ちの支援につながった。

●後期最重点課題2 将来を見据えた男女共同参画の取り組み	
施策の方向	(1) DVの未然防止、子ども・高齢者虐待の未然防止に関する施策の充実 (2) 女性職員の管理職登用に対する意識の改革 (3) 男女共同参画社会の正しい理解の啓発促進

### (1) DVの未然防止、子ども・高齢者虐待の未然防止に関する施策の充実

#### 【取組実績】

- ・虐待防止センターを設置し、複雑化する虐待ケースに関係機関と連携し対応した。
- ・被災者市民等サポート会議を定期的実施し、関係機関との情報共有に努めた。
- ・石巻市社協が開催するエリア主任会議にて、情報共有に努めた。
- ・児童虐待に関するリーフレットの配布等による啓発活動を行った。
- ・専門カウンセリング事業を実施した。
- ・保育士や指導員向けの研修を通し、注意意識の啓発や観察の徹底を呼びかけた。
- ・傾聴ボランティア活動を通した繋がりづくりを行った
- ・相談窓口の告知を行った。
- ・心のケアミーティングで、関係機関との情報共有に努めた。

#### 【成果】

- ・各種虐待対応部署の一元化により、情報の集約及び関係機関との連携の強化が図られた。これにより、各種支援施策を迅速にコーディネートした総合的な対応が可能となり、虐待被害の重症化防止につながった。
- ・「命を大切にする心の講演会」について関係機関に呼びかけ、市報にも掲載し周知できた。傾聴ボランティア活動について、人のつながりを学ぶ機会づくり、他機関と連携をとり、復興住宅集会所で初めての開催となった。傾聴だけでなく、体操や歌を組み合わせながら市民同士が集う良い機会となった。一人で悩まず誰かに相談できるよう、相談窓口について市民にむけて自死対策に取り組んでいる現状を知らせ相談機関の周知ができた。心のケアミーティングについて各関係機関で連携強化につながったことから、今後も継続希望があった。

### (2) 女性職員の管理職登用に対する意識の改革

#### 【取組実績】

- ・意欲と能力のある女性職員の登用推進及び能力実績主義に基づいた適材適所の人事配置を行

った。

- ・女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画を策定した。

#### 【成果】

- ・引き続き、女性の参画を推進できるよう調査を実施する。
- ・石巻市特定事業主行動計画（女性の活躍推進）により、多様なポストへ女性を積極的に配置し、管理的地位（ポスト補佐職含む）に占める女性職員の割合（１９％）を平成３０年度までに２２％以上とする。

### (3) 男女共同参画社会の正しい理解の啓発促進

#### 【取組実績】

- ・市職員を対象とした男女共同参画に係る講演会を実施した。
- ・市民を対象とした各種セミナーを開催した。
- ・石巻市立保育所等に幼児を入所させている保護者を対象に、男女共同参画に関するアンケート調査を行った。

#### 【成果】

- ・市職員を対象に「イクメン講習会」や女性の力を仕事に活かすための研修を実施し、職員の個々の意識改革に繋げることができた。
- ・市民及び団体等を対象とした様々な啓発活動を実施し、市民への周知を図り、男女共同参画への理解の促進に努めた。

### ● ま と め ●

- ・男女共同参画社会の実現に向け、市は男女共同参画推進条例を平成１７年４月から施行し、性別によって隔たりを持つ従来の社会制度や慣行を見直し、市民一人ひとりが性別によって差別されない平等な存在として、その人権が尊重される社会の実現を目指している。
- ・その実現のためには、市の男女共同参画推進計画を着実に進めることが肝要であり、また、その進捗内容の管理や、各担当セクションにおける更なる意識向上により、事業進行が図られることが重要である。
- ・現在進行中の石巻市男女共同参画基本計画（第２次）においては、平成２７年度及び２８年度を後期ととらえ、当初の重点課題の６つを解決することに加え、今日の社会状況を考慮して特に推進すべき事項を後期最重点課題として推進している。
- ・性別の格差がなく、各種施策や震災復興への意思形成過程への参画を推進することによって、全ての市民が暮らしやすい環境づくりが実現され、また、長期にわたる被災後の状況に対するフォローを行うことによって、ＤＶに係る加害者・被害者の発生を未然に防止する取組みが行われている。
- ・性別を超えて、一人ひとりの人権が尊重され、その結果、審議会委員、管理職、自治会役員等への登用や、女性起業家が社会進出できる地域づくりを、一人ひとりのスキルアップ、及び男女共同参画に関する関心・理解を深めることによって進めていくことが必要である。